

# ごあいさつ

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子

令和6年度がスタートし、早や3週間が経ちました。

始業式、入学式を本校舎、訪問教育及び江津湖療育医療センター分教室とそれぞれの場において行いましたが、新転入児童生徒と在校児生にとっての大きな節目となる行事を滞りなく終えることができましたことを嬉しく思います。

小学部1年生の様子を見ると、まだ慣れない環境にあるせいか、お母さんとの別れに、泣き出してしまう場面もまだあるようです。しかし、それも成長のバロメーターです。これから、大きく成長していってくれることを願っています。

さて、本校は教育目標として「安全・安心な教育環境づくりに努める」とことと「児童生徒一人一人の持てる力の伸長を図る」ことを柱としています。開校10年を迎える今、学校教育目標を具現化するために、私は「つなぐ・つながる・創造する・つくす」をスローガンとして掲げ、年度当初の職員会議で全職員に以下のような話をしました。

「つなぐ」 (繋ぐ) (継ぐ) (引き継ぐ)

○専門性を継承し、高めていく。

- ・ 肢体不自由教育、重度重複障がい教育の充実を図る。
- ・ 研修部を中心として研修の充実と「授業づくり」に力を入れる。
- ・ 指導教諭（スーパーティーチャー）を積極的に活用し、指導助言を仰ぐ。

○次の学年、つぎのステップ、就労先・進路先につなぐ。

○防災に関して、「熊本地震」の経験をつなぐ。

「つながる」 (繋がる) (連携する) (絆) (縁)

○地域との連携・交流活動

- ・ 幼保小中高等学校等：城西小学校、千原台高校、田迎南小学校
- ・ 自治体：熊本市・自治会：自治協議会・医療：熊本医療センター、くまもと江津湖療育医療センター、熊本市民病院、こども総合療育センター、熊本大学病院 他・福祉・給食：城西中学校共同調理場

○保護者との連携・協力

○学部間につながり（連携）、学部と分掌部につながり（連携）

「創造する」 (作る) (造る) (創る)

○教材教具をつくる。（デジタルも含まれる）

「つくす」 (尽くす)

○子どもの幸せのために何ができるか、子どもたちの安全安心のためにはどうしたらいいか、一人一人が持っている力を伸ばすためにはどんな指導を行ったらいいか、ということを職員一人一人が真剣に考える組織であること。

○先生たちが健康で元気であること。（ベストコンディションで）そして、笑顔で過ごすこと。

早速、5月18日には創立10年の開校記念行事、11月中旬には全国肢体不自由教育研究協議会熊本大会が控えています。職員一同、『県内唯一のこの学校で、重度・重複障がいのある子どもたちの教育に携わるのだ。』という「かがやきプライド」をもって頑張りますので、皆様からの御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。